

飲酒運転撲滅等にかかる「のぼり旗」800枚を寄贈

～飲酒運転撲滅週間を前に交通事故をなくす福岡県県民運動本部へ寄贈～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部委員会（委員長：大塚 竜二 東京海上日動火災保険株式会社 専務執行役員）では、「交通事故をなくす福岡県県民運動本部」による交通安全思想の高揚を図るため、飲酒運転撲滅および高齢者事故防止を訴える「のぼり旗」800枚を作成し、飲酒運転撲滅週間（8月25日～31日）を前に、22日、同運動本部へ寄贈をいたしました。

寄贈式では、大塚委員長から「2023年の県飲酒運転による交通事故件数は、昭和40年の統計開始以降、最低の87件まで低減したものの、今年上半年期の状況は飲酒運転事故件数が前年比11件増の51件と急増している状況である。皆さまには地域の情勢も踏まえつつ、今回寄贈する800枚ののぼり旗をご活用いただければと考えている。」との挨拶があり、同運動本部へ「のぼり旗」を寄贈しました。

交通事故をなくす福岡県県民運動本部 浦田常任委員（福岡県人づくり・県民生活部長）からは「寄贈いただいたのぼり旗にも記載のスローガン『飲酒運転は、絶対しない！させない！許さない！そして、見逃さない！』のもと、飲酒運転は重大かつ悪質な犯罪であることを周知して飲酒運転事故のない安心・安全な福岡県を目指したい、また、のぼり旗にあわせて記載しているとおり、高齢者に事故防止にも取り組みたい」と決意表明がありました。

九州支部委員会では、引き続き、関係団体等と連携した、飲酒運転撲滅等に向けた啓発活動に取り組んでいきます。



寄贈の様子



記念撮影